



大成功! チャレンジ集会!! 6年生が中心となった最後の集会

11月18日(金)の5・6校時の時間帯に児童会チャレンジ集会を開催しました。縦割り班ごとに「ストラックアウト」とか「ぞうきんりレー」など、様々な種目にチャレンジするお店を準備しました。縦割り班の6年生の半分の児童がそれぞれのお店の店番をして、残りの半分がその班の1年生から5年生の児童を連れていろいろなお店を回りました。もちろん、会を前半と後半で分けて、6年生はそれぞれで交代しました。

これは、今年度の児童会と6年生が中心に開催する最後の集会で、6年生はお店の準備から店番、お店を回るときの下級生のお世話など大活躍でした。終わりの会のダンスタイムでも、6年生有志がステージ上で踊りのお手本を披露し、拍手喝采を受けていました。各学年代表の児童の感想発表からも6年生に対する感謝の言葉とともに「自分たちが中心になって集会をする時には6年生をお手本に頑張りたい」など、6年生のがんばりが舞鶴小学校の新しい伝統を作ったことを強く感じました。



読書月間の取り組み 4つの読み聞かせ!

本校では、11月1日(火)から30日(水)までを読書月間としています。以前、紹介させていただいたように、図書時間の図書館司書の久保先生による読み聞かせと学校応援団読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせは定期的に行っているのですが、この期間限定で新たな読み聞かせが2種類行われています。

一つが「なかよし読書」といって、4年生が1年生に、5年生が3年生に、6年生が2年生にそれぞれペアを作って読み聞かせをしてあげます。

もう一つが先生方による読み聞かせです。2人の先生でペアを組んで役割読みをしたり、大型ディスプレイに絵本の絵を映し出したり、クイズ形式で大いに盛り上がり、先生方はそれぞれ工夫をしています。



第2回感謝する会

体育館が感謝であふれました！

11月14日(月)の5校時に、体育館で学校評議員の皆様や自治会関係の方々、3地区の登下校の安全見守りボランティアや読み聞かせボランティアをはじめとする学校応援団の皆様方を招待し、日ごろの感謝の心を伝える「感謝する会」を開催しました。

「校長先生の話」では、今回もパソコンとプロジェクターを使いながら、学校応援団や地域の育成会、子どもクラブの方々、PTA役員等の支援活動を紹介するプレゼンテーションをしました。そのBGMとしてSEKAI NO OWARIの「RPG」を使用したのですが、その歌詞の「空は青く澄み渡り 海を目指して歩く 怖いものなんてない 僕らはもう一人じゃない」を今回のテーマとし、「毎日の学校教育で私たちが自信をもって歩み続けることができるのは、皆様のご支援・ご協力があるから ともに歩む仲間がいるから」というメッセージを発信しました。

なんといっても心に染みいって、本当に素晴らしかったのが図書委員会の発表した「千の風 千のチェロ」でした。本の内容も素晴らしく、布に描いた大型絵本も柔らかく美しく、図書委員会の子どもの朗読もとても良かったです。そして、なんといっても心に響いて素晴らしかったのは、有泉ご家族のチェロとピアノの生演奏でした。

その後、全校児童による朗唱の発表をしました。1・2年生は、せがわえいし作「言葉は心」という詩の朗唱をしました。小さな体で精一杯の声を出しながら、弾むように、軽やかに発表していました。とても良い発表でした。中学年は、落語の演目の「寿限無」を朗唱しました。役割分担をしながら、体育館に響く声で発表していましたが、その楽しさも伝わり、観客席から笑いも起こっていました。5・6年生は、論語の朗唱をしました。高学年生の迫力のある声で含蓄のある朗唱となりました。最後は全校合唱の「歌よ ありがとう」を披露しました。全校の子どもの声の音が体育館一杯に響き、素晴らしい歌声になりました！

退場なさる時、多くの皆様から「校長先生、感動的な会でしたね!」とか「とても良かったですよ!」と声をかけていただきました！



学校応援団の新しい活動が誕生しました！

11月17日(木)の3・4校時に家庭科室で、ミシンを使っての袋づくりの家庭科の授業をしました。特に、初めてのミシンの授業はきめ細かい個別指導が必要ですが、教師一人では対応が難しいため、学校応援団の浅利さんと岩下さんがその支援に入ってくださいました！

本校の学校応援団に、また、新しい支援が加わりました。本当にありがとうございました。

